

今後も輸送中心の収益構造から付加価値の高い総合的かつ複合的な物流収益へと収益基盤改革を推し進めます



代表取締役社長

若山良孝

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第109期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日までの業況をご報告申し上げます。

当社主力事業の貨物自動車運送業界におきましては、コロナ禍による巣ごもり需要の影響で宅配貨物は底堅く推移しており、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が終了し、経済活動正常化への期待感も相まって、一般貨物等においても力強さはないものの、回復基調となってきました。

このような状況にあつて当社では、引き続き、社内外での新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止を最優先とした上で、輸送中心の収益構造から付加価値の高い総合的かつ複合的な物流収益へと収益基盤改革を推し進めてまいりました。一昨年の東部神戸物流センター、昨年の東部滋賀物流センター、東部堺物流センターに引き続き、今下期には、東部広島物流センターと東部海老名物流センターが稼働予定であり、新たに大井川営業所倉庫が竣工予定であります。

今後も3PL型営業展開を加速させ、物流施設への積極的かつ戦略的投資を継続していくことで、更なる収益基盤の改革を推し進め、将来に向け成長を持続させる企業基盤を創出してまいります。一方で、非効率・不採算拠点の見直しで要否を躊躇なく決断し、保有資産の最適化で収益性の向上を図ってまいります。また、引き続きSDGsの取り組み推進の一環で、先に発表済みであります次世代バイオディーゼル給油施設設置や太

陽光発電活用の拡大等を通して、環境配慮型の総合物流企業となることで社会的責任を果たし、加えてDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進することで、システム投資による一人当たりの生産性向上を目指します。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,593百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益269百万円（前年同期比31.4%減）、経常利益295百万円（前年同期比36.3%減）、四半期純利益271百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス① 市場変更



トピックス② 大井川営業所 新倉庫

静岡県
榛原郡吉田町

新倉庫2022年2月竣工予定

～更なる飛躍を目指し「新たな物流倉庫」を建設します～

進捗状況



基礎工事



鉄骨検査



鉄骨組み上げ



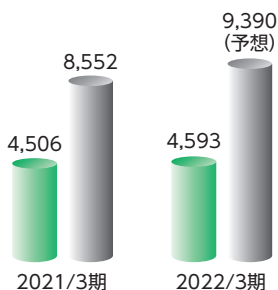
完成イメージ

業績ハイライト (2021年3月期の実績数値は、2022年3月期の収益認識基準を適用したと仮定して算定した数値)

売上高 (百万円)

● 第2四半期累計
● 通期

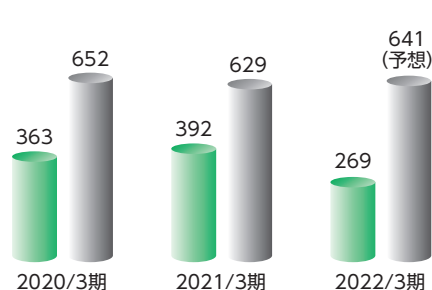
4,593百万円
(前年同期比1.9%増)



営業利益 (百万円)

● 第2四半期累計
● 通期

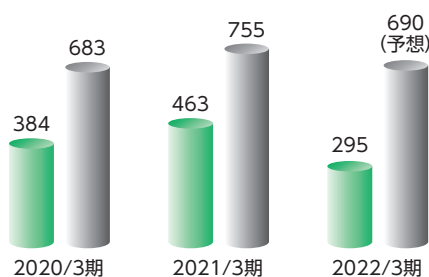
269百万円
(前年同期比31.4%減)



経常利益 (百万円)

● 第2四半期累計
● 通期

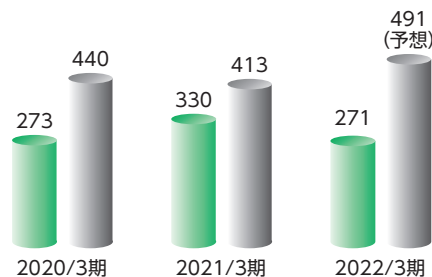
295百万円
(前年同期比36.3%減)



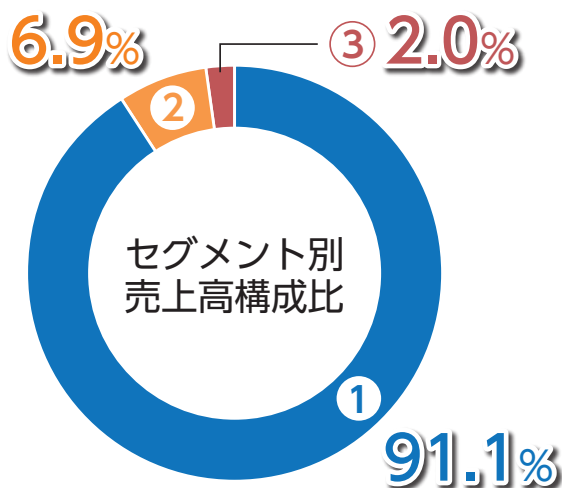
四半期(当期)純利益 (百万円)

● 第2四半期累計
● 通期

271百万円
(前年同期比17.8%減)



事業の概況



② 不動産賃貸事業

自社施設の
オフィスビルにて
一部空室が発生し
減収減益



当事業の売上高は315百万円（前年同期比6.7%減）となり、セグメント利益は199百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

① 貨物自動車運送事業

滋賀物流センター稼働により増収、
租税公課負担、減価償却費増により減益

飲料輸送は、度重なる緊急事態宣言等による需要減の影響が長引いているものの、飲料以外の輸送による下支えと、新たに滋賀物流センターが稼働したことで増収となりました。セメント輸送は安定稼働となり、前年同期並みでありました。

以上から、当事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、4,183百万円（前年同期比2.6%増）となり、セグメント利益は、前期完成の物流センターに係る租税公課負担及び同施設の減価償却費の増加等に加え、軽油価格の上昇の影響により、231百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

③ その他事業

石油販売は、石油
価格の影響により
増収減益



当事業の売上高は、95百万円（前年同期比6.0%増）となり、セグメント利益は14百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

会社概要 (2021年9月30日現在)

会社概要

商号	東部ネットワーク株式会社 (TOHBU NETWORK CO.,LTD.)
設立年月日	昭和18年12月30日
資本金	5億5,303万1,250円
主要な事業内容	貨物自動車運送事業 不動産賃貸事業 その他事業
従業員数	286名

役員一覧

取締役社長 (代表取締役)	若山 良孝	取締役	野口 誠
専務取締役 兼専務執行役員 (代表取締役)	三澤 秀幸	取締役	福田 哲郎
取締役 兼執行役員	伊藤 進	常勤監査役	高山 裕之
取締役 兼執行役員	安藤 功	監査役	稲村久仁雄
		監査役	尾崎 眞二

(注) 1. 取締役のうち野口誠および福田哲郎の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち稲村久仁雄および尾崎眞二の両氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (2021年9月30日現在)

株式の状況

(1) 発行可能株式総数	22,996,000株
(2) 発行済株式総数	5,749,000株
(3) 1単元の株式数	100株
(4) 株主数	855名
(5) 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中村 巨宏	1,415	25.95
アサガミ株式会社	321	5.88
BBH	175	3.21
株式会社みずほ銀行	131	2.40
中村 千鶴子	120	2.20
三井住友信託銀行株式会社	110	2.01
中村 匡宏	101	1.85
丸全昭和運輸株式会社	100	1.83
芦原 一義	98	1.79
山本 穰	88	1.61

(注) 持株比率は自己株式297千株を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度…………… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年6月開催
- 基準日…………… 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日(中間配当をする場合)
その他必要ある場合はあらかじめ公告して基準日を定めます。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- 公告の方法…………… 電子公告により行います。
<https://www.tohbu.co.jp/>
やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所…………… 東京証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)
- 証券コード…………… 9036

HP案内

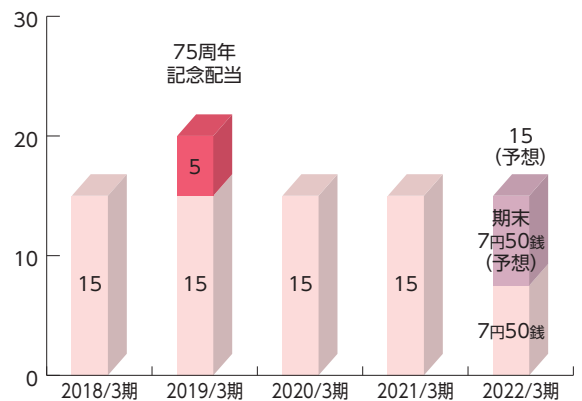
当社では、株主・投資家の皆さまおよび一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内でさまざまな情報を掲載しております。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境保全に配慮し、送付のご案内書面については、発送を取りやめております

配当金の推移(円)



株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9036

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp/>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

MAIL:info@e-kabunushi.com

株主アンケート結果ご報告

第108期株主通信においてお願いいたしました「株主アンケート」にて株主の皆さまからのご回答を頂戴いたしました。

株主の皆さまからのご意見(一部)

- 内部留保を有効に使ってほしい。ぜひとも株主還元を力を入れていただきたい。
- 物流は命です。大変な時代となりましたが、安全と品質確保をお願いします。

皆さまからご意見を頂戴しましたこと心からお礼申し上げます。ご回答内容を真摯に受け止め、今後の株主通信発行、またIR活動に活かしてまいります。